

2 文節の働きと相互の関係

● 文節の働き

文節の働きには、次の五つの働きがあります。

1 主語

・「何が・だれが」を表す文節。

例 「鳥が 飛ぶ。」 「背が 高い。」

例 「ぼくも、行きます。」

例 「君こそ、社長に ふさわしい。」

「主語」と「述語」は、文の骨格をなす重要な働きをすることばなんだよ。



2 述語

・「どうする・どんなだ・何だ・ある(いる・ない)」を表す文節。

① 「どうする」：動作・作用・存在を表す。

例 「バスが 発車する。」 「氷が とける。」

例 「けがが やっと 治る。」

② 「どんなだ」：様子・状態を表す。

例 「水が 冷たい。」 「教室は 静かだ。」

例 「彼は だれにでも 親切だ。」

③ 「何だ」：名前・役割分担・所属グループなどを表す。

例 「ぼくは 生徒会長です。」 「あれは 利根川だ。」

例 「五月五日は 妹の 誕生日だ。」



3 修飾語

・「いつ・どこで・だれと・何を・どのように・どんな」などを表す文節。

① 事物や人などを表すことばを修飾する。(連体修飾語)

例 「弟の 好物は カレーだ。」(だれの)

例 「卒業する 生徒達を 見送る。」(どうする)

例 「いろんな 話を 聞く。」(どんな)

例 「泣きさけぶ 子供の 声が 聞こえる。」(どんな)

② 動作・作用・様子・状態などを表すことばを修飾する。(運用修飾語)

例 「ぼくたちは、公園で 遊んだ。」(どこで)

例 「彼女は、自転車で 通学する。」(何で)

例 「波が とても 高い。」(どのくらい)

例 「本を きれいに 並べた。」(どのように)



4 接続語

・「原因・理由・条件」などを表したり、前後の文をつないで、その関係を示したりする文節。

例 「転んだので、骨折した。」(原因)

例 「走ったら、間に合うだろう。」(条件)

例 「ドアを ノックした。けれども 返事は ない。」(逆接)

5 独立語

・他の文節とは直接関係がなく、比較的独立している文節。

例 「ああ、何て 美しい 歌声なのだろう。」(感動)

例 「はい、桜は もう 咲いて います。」(応答)

例 「先生、質問が あります。」(呼びかけ)

例 「家族、これが、私の 大切な 宝だ。」(事柄の提示)

● 文節相互の関係

文節相互の関係には、次の五つの関係があります。

1 主語・述語の関係

・主語が述語にかかり、述語が主語を受けるという関係。

例 「犬が ほえる。」

例 「太陽が 地平線に しずむ。」

例 「新鮮な 野菜は おいしい。」

例 「アルミニウムは さびにくい 金属だ。」



*文全体の主語・述語と、部分の主語・述語という、二組以上の「主語

・述語の関係」を含んだ文もある。

例 「お母さんの 作った 料理は おいしい。」

文全体の主語・述語 ↓ 「料理は」「おいしい」

部分の主語・述語 ↓ 「お母さんの」「作った」

2 修飾・被修飾の関係

・修飾する語と修飾される語(被修飾語)の関係。

例 「外国の 船が 入港する。」

例 「星が きらきらと 光る。」

例 「強風で 木が 倒れる。」

例 「もう 少し 遊びたいなあ。」

例 「たとえ 失敗しても くじけない。」

3 接続・被接続の関係

・接続語とそれを受ける文節との関係。

例 「満腹なので、食べられない。」

例 「みがけば、光る 才能。」

「接続・被接続の関係」の場合、上の文節は、「原因・理由」「条件」などを表しているのね。



例 「急いだけれども、間に合わなかった。」

例 「努力すれば、報われるだろう。」

例 「遅刻すると、怒られる。」

4 並立の関係

・二つ以上の文節が対等の資格で並ぶ関係。

例 「祖父と 祖母が 遊びに 来た。」

例 「ぼくは、紅茶と ケーキを 注文した。」

例 「色紙を、切ったり はったりする。」

例 「母は、いつも 明るくて 朗らかだ。」

「母は、いつも朗らかで明るい」といつても、文の意味は変わらないよ。



*並立の関係にある文節は、それらの文節の順序を入れ換えても、文意が変わらない。

5 補助・被補助の関係

・下の文節が、本来の意味が薄れていて、すぐ上の文節を補助する意味で用いられている関係。

例 「別の 方法を 試して みる。」

例 「話して いるのは、校長先生だ。」

例 「兄は、高校生で ある。」

例 「何でも 私に 相談して ください。」

例 「本当の ことを 教えて ほしい。」

*二つの文節が補助の関係にある場合、上の文節は「〜て」「〜で」という形になっていることが多い。

「別の方法をためしてみる」「テレビのクイズ番組をみる」「二つの「みる」の意味の違いを考えてみよう。」



確認問題

1 文節の働きと、文節相互の関係について説明した次の文章の、に入る適切なことばを、それぞれ書いて答えなさい。(同じ番号のには、同じことばが入ります)

① 父は、読んだ。

② 父は、「父は」のように、「は」に当たる文節を、「読んだ」のように、「どうする・どんなだ・何だ」に当たる文節をという。そして、文の骨格をなしているこの二つの文節の関係を、「・の関係」という。

③ ぼくの 父は、新聞を 読んだ。

④ ①の文のように、二つの文節だけでは、だれの「父」なのか、何を「読んだ」のかなど、詳しいことがわからない。③の文では、「ぼくの」が「父は」を、「新聞を」が「読んだ」を詳しくしている。このように、他の文節の内容を詳しく表す文節をという。そして、これらの二つの文節の関係を、「・の関係」という。

⑤ はい、父は、新聞を 読みました。

⑥ ①の文の「はい」は、何らかの問いかけに対する応答であり、「父は、新聞を 読みました」の部分とは、直接関係がない。このように、他とは直接関係がなく、比較的独立している文節をという。

④	①
⑤	②
⑥	③

2 次の(1)~(6)の文のの述語に対する主語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 子供の ころの 思い出が、 ふうに よみがえる。
- (2) ア あそこに 見える 建物は、 学校の 体育館だ。
- (3) ア さつきさんの 表情は、 どんな 時でも にこやかだ。
- (4) ア 婦人服の 売り場には、 大勢の 客が ひしめき合った。
- (5) ア 会議では、 たった 一つの 議題しか、 提案されなかった。
- (6) ア 彼の 活躍に よって、 などは オ すべて 説明された。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

3 次の(1)~(6)の文のの主語に対する述語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) みんなは、 駅までの 道のりを ひたすら 走った。
- (2) 列車が、 長い トンネルを すると 通りぬける。
- (3) ノーベル賞を 受賞したのは、 日本の 著名な 科学者だ。
- (4) この あまい においは、 ユリの 花の 香りだろう。
- (5) 和服姿も、 洋服姿の 時と 同じように 美しい。
- (6) さわやかななあ、 初夏の 山から 風は 吹き下ろす。

「は」「が」以外の主語もあるんだね。



(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

4 次の(1)～(6)の文の が修飾していることばを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 来年、新しい校舎が建築されると発表された。
- (2) 工事で、この道は半年間も通行禁止だった。
- (3) 熱狂的な会場の雰囲気、すっきり圧倒された。
- (4) おそらく午後には、雨もやむだろうと思われる。
- (5) 世界中のあらゆる人々が、心から平和を望む。
- (6) ぼくたちのチームが優勝したとは、信じられないよ、今でも。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

5 次の(1)～(4)の文から、接続語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 宿題を済ませ、ウそして、エ遊びにオ行った。
- (2) 努力すれば、イ君のウ夢はエきつとオかなうだろう。
- (3) 太ったので、イ明日からウ運動しようとして、エ決意した。
- (4) 冷やすと、イスイカはウよりエおいしくオ食べられる。

(1)
(2)
(3)
(4)

6 次の(1)～(4)の文から、①独立語を一つずつ選び、また、②その独立語の表す内容を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) アちがいます、イあの建物は、エ図書館です。
- (2) ア勤勉、イこれが私の好きなことばです。
- (3) ア井上さん、イあなたはどこに行きたいですか。
- (4) アおや、イ寒いとウ思ったら、エ外はオ雪だ。

- ア 応答 イ 呼びかけ
- ウ 感動 エ 事柄の提示



(3)	(1)
①	①
(2)	(2)
(4)	(2)
①	①
(2)	(2)

7 次の(1)～(8)の文の——線部の、文節相互の関係をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 歌ったり、踊ったりする。
- (2) 二人乗りは、危険だ。
- (3) 急いだけれど、間に合わなかった。
- (4) ひっそりと 静まり返る。
- (5) 教科書を忘れて しまった。
- (6) 高度な 技術を用いる。
- (7) 地震の 起こりやすい 地域。
- (8) 傷口が、痛んで きた。

- ア 主語・述語の関係
- イ 修飾・被修飾の関係
- ウ 並立の関係
- エ 接続・被接続の関係
- オ 補助・被補助の関係

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)
(7)
(8)

「(7)「地震の」の「の」に注意しよう。



練成問題

① 次の(1)～(12)の文の、①文全体の主語の右側に——線を、②文全体の述語の右側に……線を引きなさい。また、③それぞれの文の型を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 日本は、周りを海に囲まれた島国です。
 - (2) 私はどんな色も、もともと生命の色だと思う。
 - (3) 資格を持っている人は、就職するのに有利だ。
 - (4) 上野君こそ、劇の主役にふさわしい。
 - (5) 彼女は、素直に謝ろうと、ようやく決心した。
 - (6) ラグビーでは、選手は後ろにしか球を投げられない。
 - (7) まさしく彼^{かれ}だった、ぼくに真実を告げたのは。
 - (8) 秋が深まり、もみじの葉っぱもかなり色づいた。
 - (9) ひまわりは、夏に咲く代表的な花だ。
 - (10) ぼくが欲しかったのは、電池で動くロボットだ。
 - (11) 君のそのかっこうは、とても見苦しいよ。
 - (12) 山の上では、天候の変化がとても激しい。
- ア 何(だれ)が(は)——どうする。
 イ 何(だれ)が(は)——どんなだ。
 ウ 何(だれ)が(は)——何だ。

③	
(7)	(1)
(8)	(2)
(9)	(3)
(10)	(4)
(11)	(5)
(12)	(6)

② 次の(1)～(6)の文の、①□□が修飾している文節を一つずつ選び、記号で答えなさい。また、②□□は、A連体修飾語、B連用修飾語のどちらですか。それぞれA・Bの記号で答えなさい。

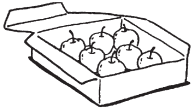
- (1) 画用紙に、まっすぐな線を引く。
- (2) 定規を使って、まっすぐに線を引く。
- (3) お昼には、お積もった雪もすっかり解けるだろう。
- (4) 君が言うことを、理解できない。
- (5) 赤みがかったリンゴを、わたしにくれた。
- (6) 男は、もはや疲れて歩けないと、ぼくに言った。



(4)	(1)
①	①
②	②
(5)	(2)
①	①
②	②
(6)	(3)
①	①
②	②

③ 次の(1)～(4)の文の□□を直接修飾している文節を二つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 事態は、いよいよ深刻な局面をむかえた。
- (2) 関東地方も、ようやくうつつうしい梅雨が明けた。
- (3) 今年も、おばさんからたくさんのリンゴが届いた。
- (4) 私は、友人のよく整理されたノートを借りた。

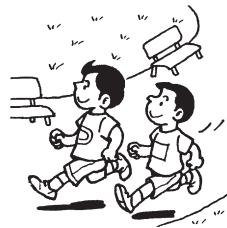


(1)
②
(3)
(4)

4 次の(1)～(3)の文の、——線部の文節の働きを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 遠くから、① 虫の ② 鳴き声 ③ が ④ 聞こえる。
- (2) 疲れたから、① ちよっと ② ここらで ③ 休もうか。
- (3) 身勝手、① これは、② 彼の ③ 性格を ④ 表した ⑤ ことばだ。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語
エ 接続語 オ 独立語



(3)	(2)	(1)
①	①	①
②	②	②
③	③	③
④	④	④
⑤		
⑥		

5 次の(1)～(10)の文の——線部の文節の関係を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 岩田さん①だけ、代表に ② 選ばれるだろう。
- (2) 今朝は、寒かった①ので、② 厚着した。
- (3) 歩行者や ① 自転車に ② 注意しながら、車を ③ 運転する。
- (4) 残された ① 時間は ② わずかで ③ ある ④ ことが ⑤ 判明した。
- (5) 落ち着いて ① 話し合えば、② きっと ③ 誤解も ④ 解けるだろう。
- (6) 推理小説を ① 読むのは、② 勉強するよりも ③ 面白い。
- (7) 田中さんの ① 思いがけない ② 発言に、みんなは ③ 驚いた。
- (8) 走ると、① 危ないよ。
- (9) 外出する ① 時は、② 事前に ③ 伝えて ④ ほしい。
- (10) 泣いても ① さげんでも、② おもちゃを ③ 買って ④ もらえなかった。

ア 主語・述語の関係
ウ 並立の関係
オ 補助・被補助の関係
エ 修飾・被修飾の関係
イ 接続・被接続の関係

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)

6 次の(1)～(10)の文から、()内の関係にある二つの文節を探し、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) ア この ① 店の ② 料理は ③ とても ④ 油っこい。(主語・述語)
- (2) ア おそらく ① 実験は ② 成功するでしょう。(修飾・被修飾)
- (3) ア 暗くて ① いせまい ② 部屋に ③ 閉じこめられる。(並立)
- (4) ア 重要書類を ① 金庫に ② しまつて ③ おく。(補助・被補助)
- (5) ア 質問するなり、① 調べるなり、② 工夫しましょう。(並立)
- (6) ア もし ① 独りぼっちだったら、② 寂しいだろう。(接続・被接続)
- (7) ア 真相を ① 確かめて ② みる ③ 必要が ④ ある。(補助・被補助)
- (8) ア 食べながら ① しゃべるのは、② はしたくない。(修飾・被修飾)
- (9) ア この ① 馬は ② 生まれたばかりなので、③ 歩けない。(接続・被接続)
- (10) ア もう ① ああ ② 公園には ③ だれも ④ 行かないだろう。(主語・述語)

述語)

(6)	(1)
(7)	(2)
(8)	(3)
(9)	(4)
(10)	(5)